

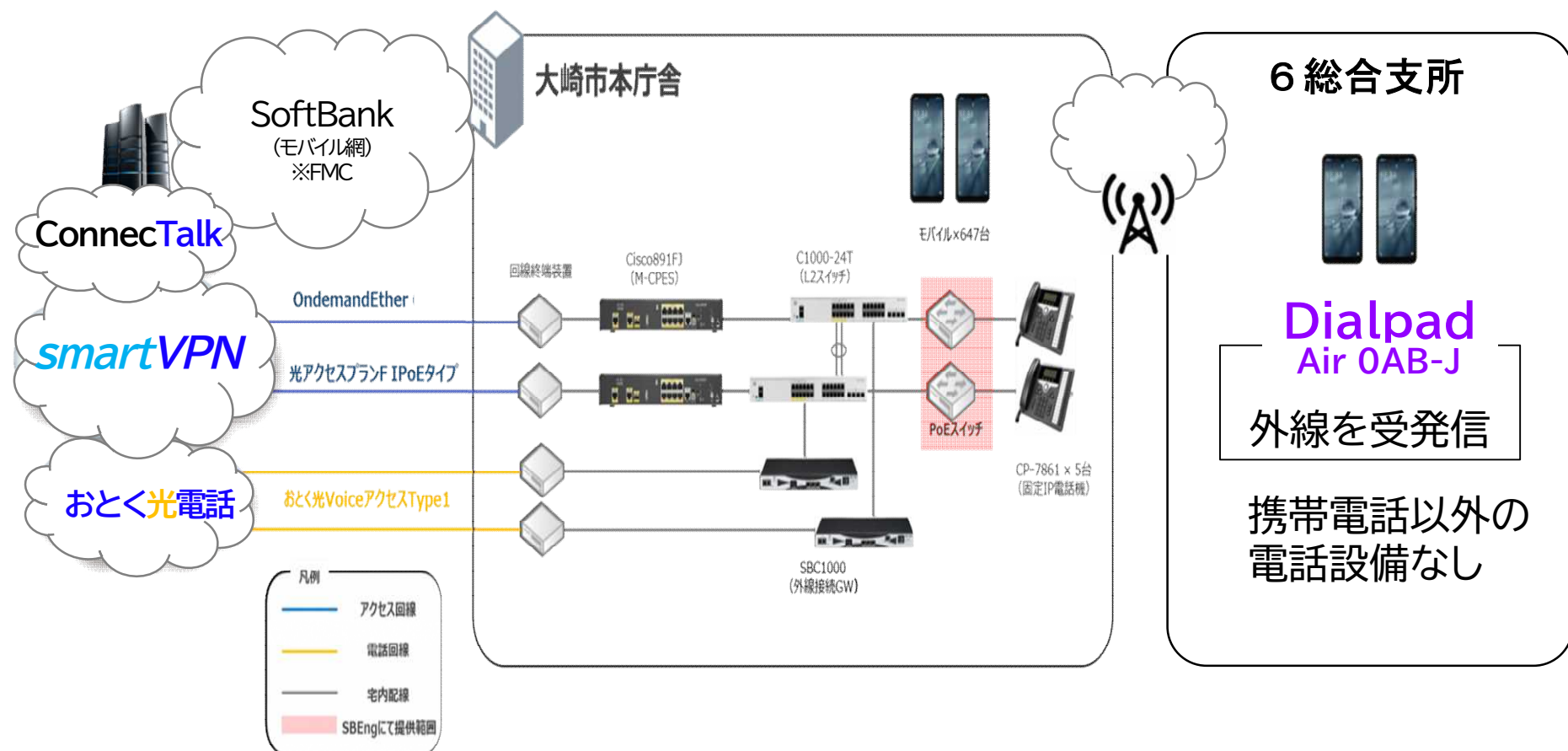
内線・外線システムの無線化とスマートフォンの導入による電話網の強靱化

内線・外線システムについて、固定電話から携帯電話への運用変更を行うとともに、クラウドPBXを導入し、電話設備がほとんどない職場を実現しました。

電話設備の大きな位置を占める電話線は、携帯電話網を活用するため、有線から無線となります。

また、6総合支所では、外線アプリ(Dialpad Air 0AB-J:ダイヤルパッド)を活用することで、電話設備の無い環境となりました。

電話設備が無いことにより、電話機の移動が容易であるだけでなく、設備の経年劣化によるトラブルも発生しないなど、管理しやすい環境を構築できました。



庁内DXに向けた足がかり

自治体「初」の試み

多

DXに向けた取り組みが加速

- ・事例取り上げ
- ・視察件数増加

大崎モデルの事例創出

その他の副次効果

BYOD脱却

- ・機密情報管理
- ・ハラスメント防止
- ・不正の事前抑止

働き方改革

- ・受電対応向上
- ・リモートワーク
- ・三層NW脱却

Innovation思考

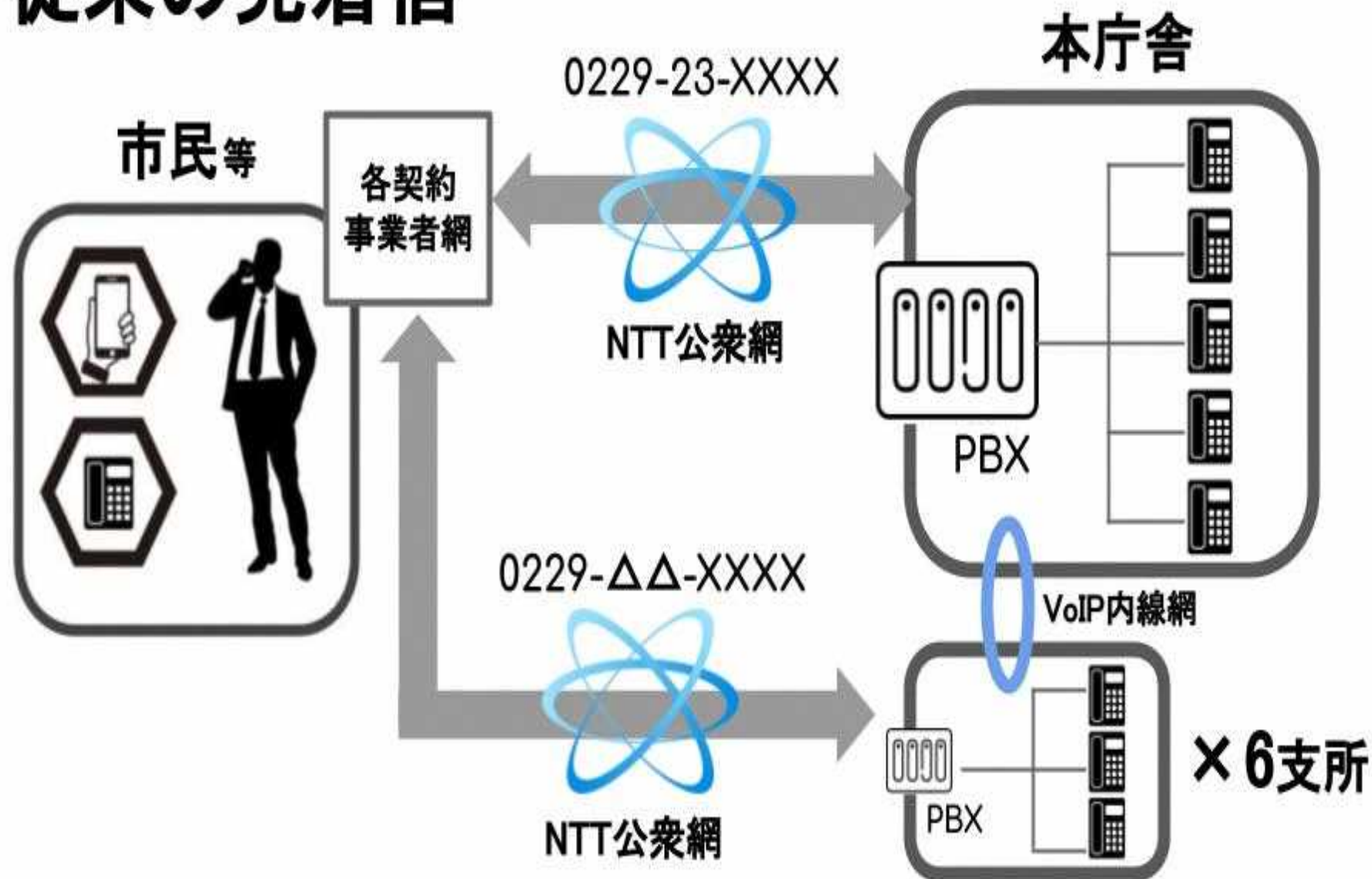
- ・SNS利活用
- ・迅速な情報取得
- ・外部連携の向上

災害・有事対応

- ・ビデオ通話連携
- ・位置情報取得
- ・迅速な指示系統



従来の発着信



切替後の発着信

番号に変更なし

0229-23-XXXX

本庁舎

市民等

各契約
事業者網

ソフトバンク
クラウドPBX網
ConnecTalk

番号に変更なし

0229-△△-XXXX

かけ方に変更なし

VoIP内線網+モバイル

× 6支所

Dialpad Air 0AB-J